

海岸

概況

亜熱帯気候を代表する景観を感じさせてくれるのが海岸域である。

特徴的なイノーや海浜植生のつくり出す景観は、すべての県民の共有財産である。また、海岸域では、港湾施設の立地する地域や自然海浜の連続する地域など、それぞれ個性的な景観を有している。

これらの海岸域においては海への眺望を確保するとともに、植栽帯や展望広場など、海岸に開けたオープンスペースや親水性のある形態づくりなどの工夫が求められる。

さらに海上や対岸等、海を通して見る海側からの視点にも配慮する必要がある。



視点

- 埋立事業により創出された新市街地では、工業団地、住宅地、商業地等により混在した景観を形成しているため、オープンスペースや緑地の創出により地域にうるおいとゆとりを感じさせる配慮が望まれる。
- 市街地で海浜に接する地区では、海浜や水平線を見通す海への眺望の確保が望まれる。
- 自然海浜の広がりや背後に丘陵地を有する地域においては、海岸域の防風林や美しい水際線等で構成される景観特性に配慮し、海との連続性を意識した工夫が必要となる。
- 宮古・八重山及びその他離島地域の海岸部においては、田園的な風景とのつながりを確保し、開放的な自然海浜の景観形成に配慮する。

●環境への配慮●

- ①海への見通しや、開放的な空間を確保するよう、海に面した長大な壁面をつくらない。
- ②海浜の環境に対応した施設であるとともに、海に開かれた象徴性を加味する。



① 海岸に対して、長大な壁面とならないよう分棟化し、建物の方向に配慮している。
(県営比屋根団地、沖縄市)



① 海浜部に面した位置にあり、敷地内に十分な空き地を確保し、開放的な景観を形成している。
(名護市民会館、名護市)



② 周辺の建築物とのつながりや、海岸に開けた空間の設置により、良好な海岸景観を創出している。
(宜野湾市立体育館、宜野湾市)



② 海側に面した厳しい条件の下で、ダイナミックでシンボル性を表現したデザインが地域にインパクトを与えている。
(久米島空港ターミナルビル、具志川村)

● 環境への配慮 ●

- ③ 海岸に囲まれた地域では、地形や海岸線の輪郭に合わせた規模・形態・配置を検討し、違和感を軽減する。
- ④ 海上の船舶や港湾、入り江の対岸等から海を通して見る視点を考慮した配置、スケールとする。



③ 背後の海浜景観に対して、運動場を前面に配置した校舎のデザインがすっきりとした印象を与えている。
(光洋小学校 糸満市)



③ 前面にオープンスペースを確保し、屋根部分もスカイラインに配慮した勾配を持たせている。
(八島小学校 石垣市)



④ 離島の旅客ターミナル港として船舶等海上からの視点を考慮した明確なデザインの工夫が感じられる。
(泊埠頭ターミナル、那覇市)



④ 貝を模した独創的なスタイルは、海への象徴性を主張している。
(熱帯ドリームセンター、本部町)

●デザインの配慮●

- ① 海岸部の緑地や海・空など建物の背景となる景観に調和した形態、配色に配慮し、ダイナミックな空間に映えるシンボル性を含んだデザインを工夫する。
- ② 主な視点場から背景の海の青さ、広さを十分認識できるように、視界に組み入れられたデザインを工夫する。
- ③ 海と陸域の見通しを確保し、海岸域と一体化したデザインを工夫する。



① 東シナ海に面し、アプローチからの花びら型の印象的な形態が海への広がり意識させて、地区の景観形成の機軸を構成している。
(沖縄コンベンションセンター、宜野湾市)



① 大きく形取られた赤屋根は、地域のシンボリックな建築物として位置づけられる。
(県工業技術センター、具志川市)



② 海を見下ろす傾斜地に立地しており、地形になじませた低い構え、ボリューム感を抑えて海への眺望を十分に確保している。
(平良市中央公民館、平良市)



② 海岸沿いの国道に面する施設は、車両からの視線を考慮した位置、形態となっている。
(「道の駅」許田、名護市)



③ 施設を機能別に分棟することにより、高さを抑え後背地の海岸域への見通しの配慮がなされている。
(県具志川浄化センター、具志川市)



③ 全体的に整った建物は、海岸域とのバランスを考慮し、落ち着いた景観を保っている。
(宜野湾港マリーナ、宜野湾市)

歴史

概況

本県は独特の歴史・文化を有しており、その継承そのものが景観形成につながると考えられる。歴史的景観としては、首里城を始めとするグスクを中心とした景観、昔の庶民生活を偲ばせる伝統的集落の景観等が代表的であるが、それ自体はもとよりそれらを取りまく良好な周辺景観の保全と創造が最も大切である。

したがって、歴史的地区においては公共建築物の敷地の使い方に配慮して、歴史・伝統景観を損なわないこととする。ただし、歴史・伝統景観の失われつつある地域では、伝統的建築形態や手法に十分配慮しつつ、歴史的景観の復元・再生の誘導にも配慮する。



視点

- 首里城周辺地域においては、歴史的建造物や伝統的集落の集積により沖縄の代表的な景観を残しており、この地区の歴史の流れを感じさせる趣のある景観の形成・保全に配慮する。
- この地域のシンボルである首里城及び歴史的文化財等の建築・建造物及びまちなみを構成している並木や石畳、石垣等の地区を代表する景観資源との調和に配慮する。
- 王府時代の景観を彷彿させるグスクを中心とした地区では、田園風景や丘陵・海浜景観との統一的なバランスが保つ総合的な自然景観への配慮が望まれる。
- 往時の集落を形成している地区においては、家屋のまとまりや沿道の並木、海浜とのつながりを考慮したスケールや空間的な連続性等に配慮する。

● 環境への配慮 ●

- ① 伝統的建築様式を尊重し、かつての建築スタイルや緑化、外構など歴史的構成要素を取り入れ、まちなみと調和する施設づくりを図る。
- ② 首里城など歴史的景観のシンボルとなる文化財等の周辺への立地については、十分な検討が必要となる。
- ③ 歴史的景観の象徴となる景観資源への連続性や見通しを確保する。



① 周辺の文化財の景観と調和するよう、歴史的景観の構成要素を積極的に導入している。
(県立芸術大学、那覇市)



① 沿道沿いに赤瓦、シーサー等、周辺環境になじんだ形態となっている。
(首里郵便局、那覇市)



② 赤瓦屋根や琉球ガラス等の採用により、首里城周辺の歴史的景観への配慮がなされている。
(首里社館、那覇市)



② 赤瓦、集落イメージの採用により、地域の歴史的建築物との調和が図られている。
(城西小学校、那覇市)



④ 前面に広い駐車場を配し、歴史的空間との連続性の配慮がなされている。
(識名園、那覇市)



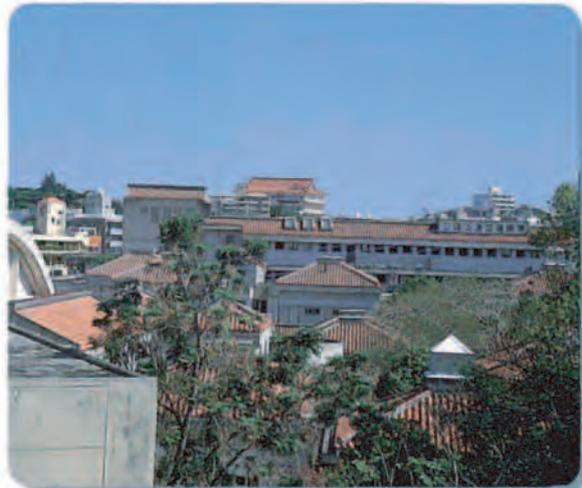
④ 建物の高さに配慮がなされ、沿道からのグスグスへの見通しが確保されている。
(中城・北中城消防本部、北中城村)

●デザインの配慮●

- ① 歴史的建築様式を積極的に採用する場合、地域のシンボルとなる建築・建造物及び周辺景観との調和について充分配慮する。
- ② 施設の立地する地区の歴史的背景、まちなみの変遷等を考慮したデザインを工夫する。
- ③ 伝統的地区の中核施設として、歴史的デザインを基調とした施設づくりを心がける。
- ④ 地域特有の素材、色使いなどを十分検討し、仕上げ材料等を選定する。



- ① 首里城の脇に建つ施設で、開放性と柔らかさを考慮した芝生の舗道と群色の樹木が歴史景観との調和に加え、柔らかさを演出している。
(県立芸術大学、那覇市)



- ② 「守礼門」と調和させるために、屋根の赤瓦とそれをとめるしっくい手法に伝統的手法を取り入れている。
(城西小学校、那覇市)



- ③ 首里金城町は那覇市の景観形成地区に指定され、歴史的資源を保全する計画が進んでいる。その一環として地区のシンボルとして整備されている。
(首里金城村屋、那覇市)



- ④ 伝統的な景観が保存されている地区に立地し、地域になじんだ色使いとなっている。
(竹富郵便局、竹富町)

2 プロセス指針

景観形成プロセスの考え方

公共建築物は、社会的なニーズによって整備される。その過程は企画・構想、基本設計、実施設計、施工の段階を経て、運営・管理へと移行する。

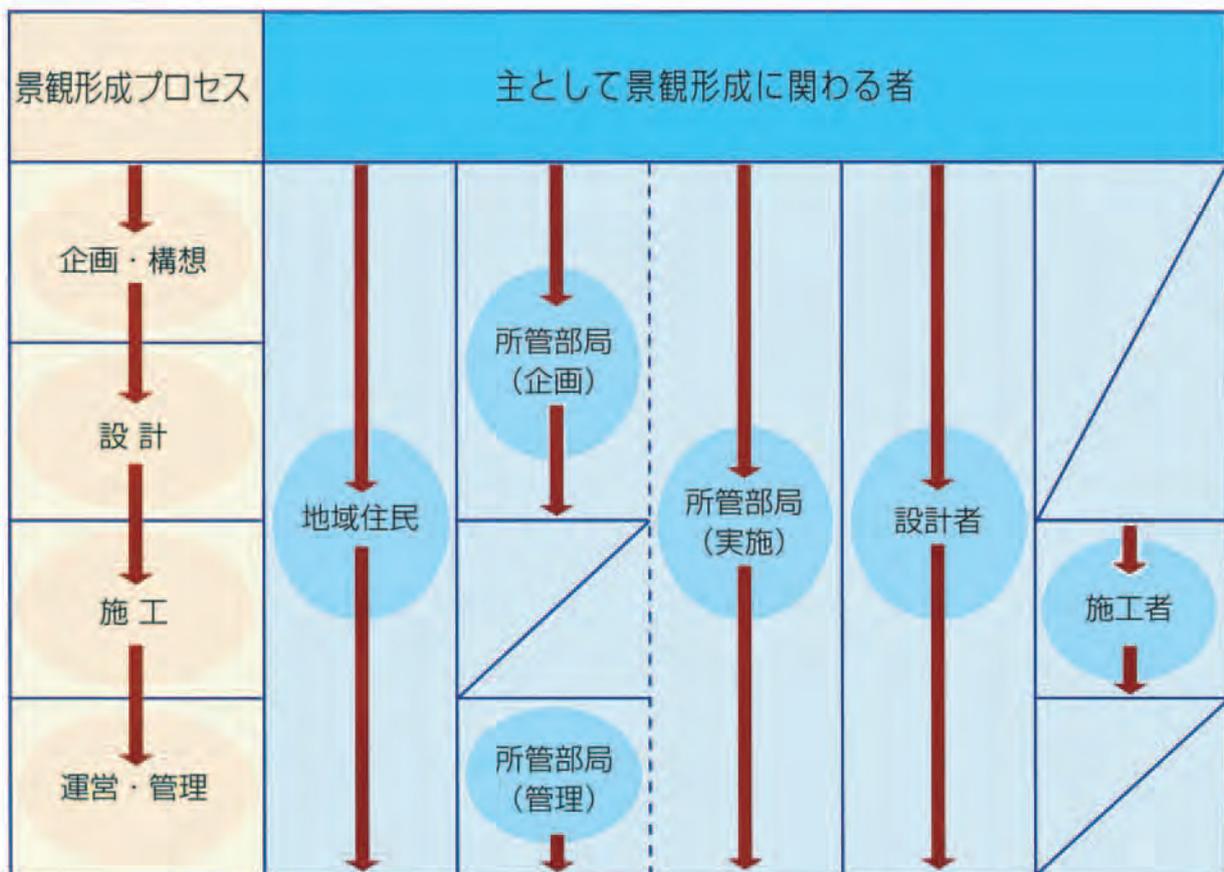
「みんなでつくり、育てる」というサブテーマを担うプロセス指針は、施設整備及び運営管理の各段階ごとに、所管部局、地域住民、設計者、施工者がそれぞれの立場でいかに関わるかということについて基本的な考え方を示すものである。

各段階すべてにおいて、それぞれの立場の人が重要な関わりを持っているが、特に今後は地域住民の関わり方が重要になってくる。公共施設は、基本的には施設を通して住民サービスや公共の福祉の向上を目的として整備されるものであり、企画段階から地域住民の意見をいかに引き出すかが運営・管理までの流れをスムーズにするために重要である。

事業を中心となって進めている所管部局については、施設の必要性の検討や予算取得などを行う企画部門、主に設計から施工までを行う実施部門、施設完成後の運営管理等を行う管理部門などがあり、これらの部局の連絡調整が重要である。

また、設計者及び施工者については、施設完成までの関わりが深く、施設完成後の運営管理には直接は関わらないが、計画、施工が運営管理に及ぼす影響は大きなものがあるため、運営管理に対する配慮を常に念頭においておく必要がある。

それぞれ関係者の関わるプロセスをまとめたのが下表である。



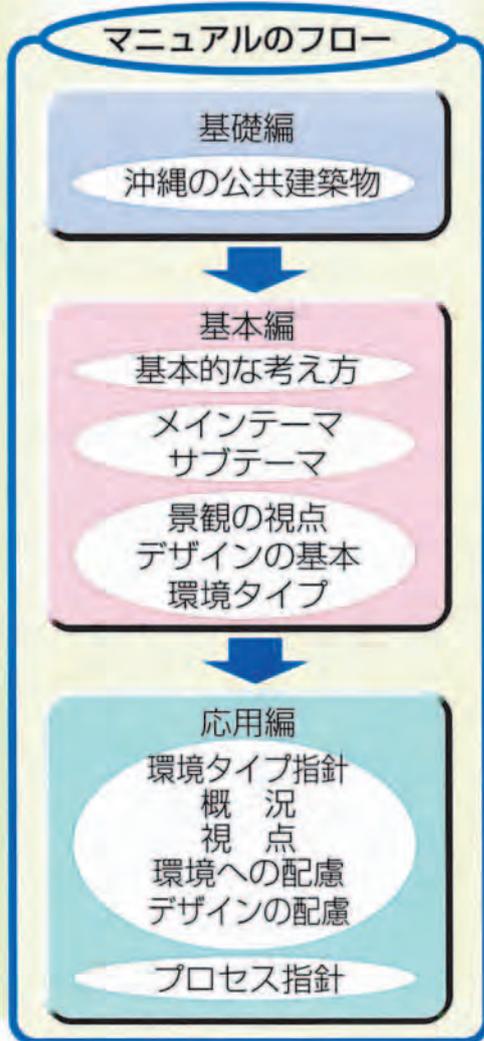
景観形成フロチャート

本マニュアルは、デザインの基本、環境タイプ指針、プロセス指針等、下記の内容で構成されている。

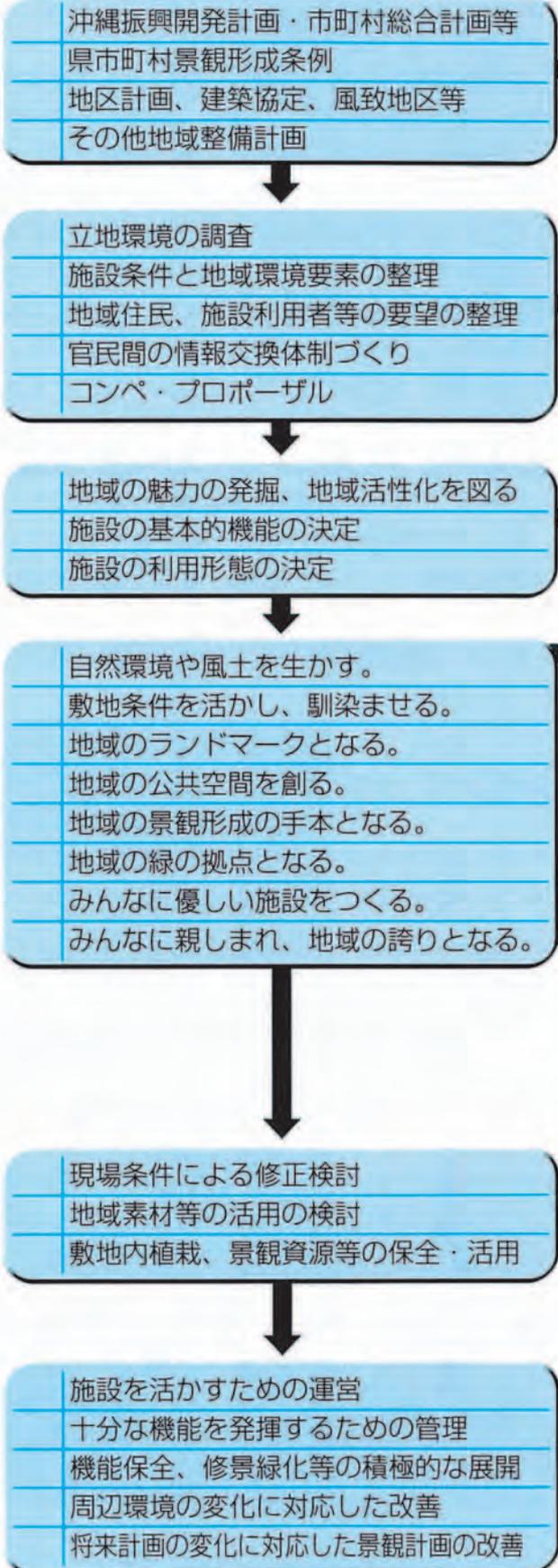
実際の運用にあたっては、事業の各段階ごとにデザインの基本、環境タイプ指針の配慮事項のうち、必要な項目について、チェックを行い、複合的、総合的に検討する必要がある。

その意味において、プロセス指針は、本マニュアルのデザインの基本、環境タイプ指針相互の関係を明らかにするとともにマニュアル自体の活用を誘導する役割も担っている。

右のフローチャートは、本マニュアルを円滑に活用するために、施設整備の各段階において、マニュアルとどう関わっていく必要があるかをまとめたものである。

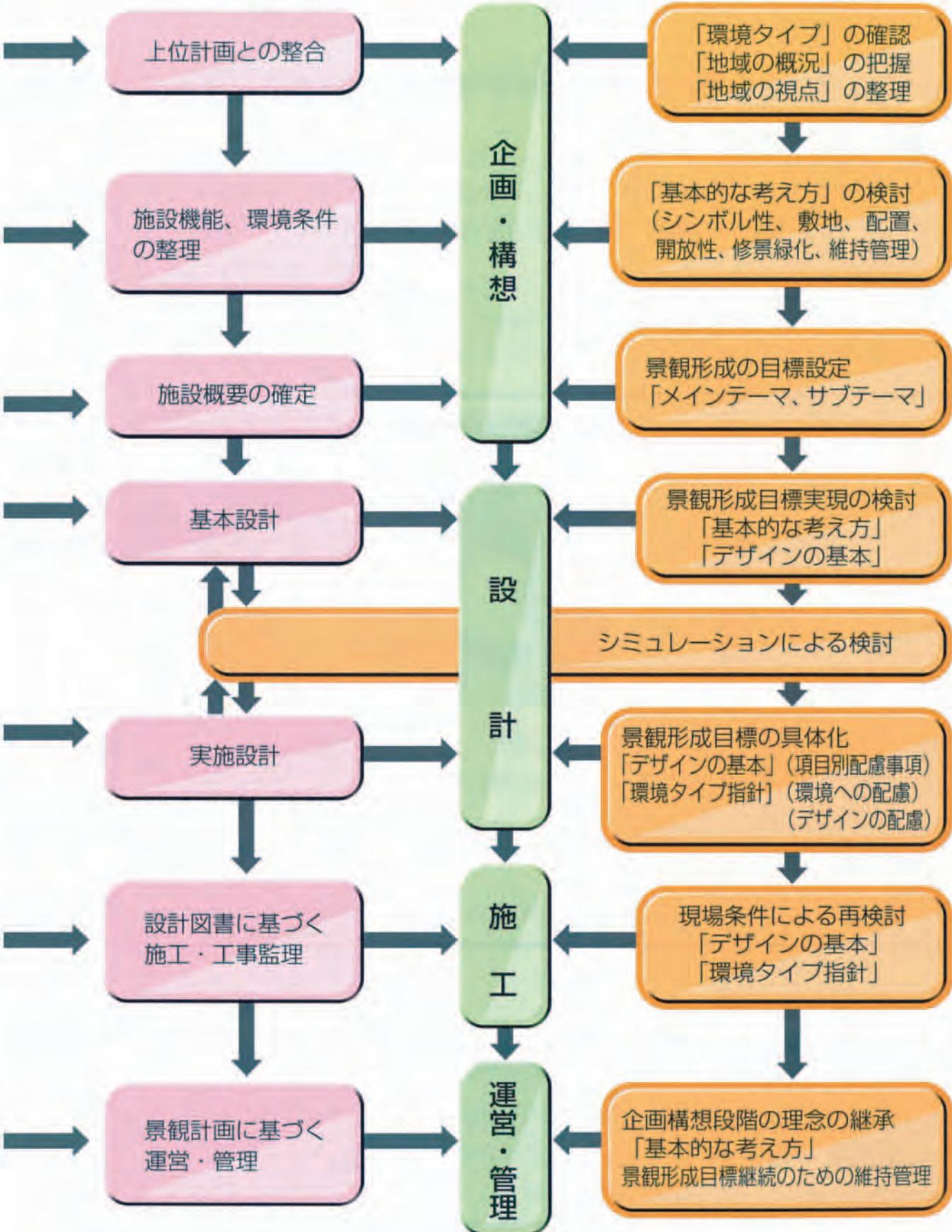


具体的な対応



景観形成プロセス

マニュアル上の対応



1. 企画・構想

所管部局(企画・実施)、関係機関

- 施設の景観形成レベルを検討する。
- 施設の機能や規模を踏まえて、環境に配慮した場所の選定を行う。
- 立地する地域の景観を把握するため、情報として地図や景観資源のデータを整理する。
- 地域の伝承や昔話、また地域の大事な場所や原風景などについても整理し、地域の個性を景観形成に生かす。
- 地域の景観情報をできるだけ多く入手するため、地域住民や専門有識者との情報交換を行う。
- 施設に関して、維持管理を含めた景観計画を検討する。
- プロポーザル等の手法を活用するなど、よりすぐれた景観形成を図る手法を検討する。



住民

- 公共施設整備の情報を入手したら、自主的な調査やワークショップ等への参加を積極的に行う。
- 地域で大事にされている景観資源についての情報を提供し、魅力ある施設づくりに反映させる。
- 地域の景観形成について、情報を整理し、問題点について議論できる体制づくりする。

設計者

- 施設の立地条件、機能、規模を整理し、地域の景観形成に果たすべき役割を検討する。
- 地域の景観資源についてその位置、見え方、意味合いなどについて整理する。
- プロポーザルやコンペなどに積極的に参加する。

2. 設 計

所管部局(企画・実施)、関係機関

- 施設の規模や配置、形態、意匠、色彩等、具体的な内容について多くの意見を集めるため、有識者や地域住民との情報交換の場をつくる。
- 設計コンペ等の手法を活用するなど、良好な景観形成を図る有効な手法を検討する。
- 工事予算に見合った適正コスト景観づくりについて検討を行う。

住 民

- 地域の自然環境、生活環境をふまえて地域に親しまれる施設づくりについての提言を行う。
- 地域の景観資源を保全するとともに、地域景観形成の先導的な施設づくりについて意見交換を行う。



設 計 者

- 地域の自然環境や生活環境を生かした施設のデザインの具体化を図る。
- プロポーザル・コンペ等の案を発注者及び住民の意見をふまえて具体化する。
- 地域のランドマークとなるデザイン、地域に親しまれるデザインを具体化することにより、地域の誇りとなる施設づくりを行う。
- 設計の過程において、景観シミュレーションを行い、その内容をフィードバックさせて検討する。

3. 施 工

所管部局(実施)、関係機関

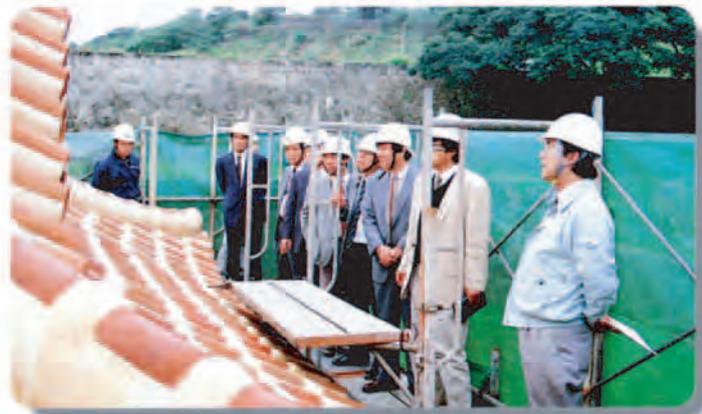
- 設計段階からの景観形成の考え方が施工においても反映されるように、発注者、設計者と施工者が十分な連絡調整を行う。
- 地域住民との情報交換の場を継続させるとともに、安全な範囲で現場をアピールする機会を企画し、親しまれる施設づくりを行う。

住 民

- 自分たちの施設を造っているという意識を持つために、施工の進捗に関心を持ち、地域に親しまれる施設づくりに協力する。

施 工 者

- 現場の状況を踏まえて、環境への配慮が十分かどうか設計内容について検討する。
- 設計段階で行った景観シミュレーションを現場の状況により確認する。



設 計 者

- 地域の環境を生かした景観形成の考え方が施工に反映されるように十分な工事監理を行う。
- 仕上げ材料や色彩の決定においては、住民の意見を踏まえて、専門家としての意見を提言する。

4. 運営・管理

所管部局(実施・管理)、関係機関

- 地域住民の利用を促進する運営管理のプログラムを用意する。
- 建築物が景観的魅力を保つよう、定期的な点検や修繕をこまめに行う。
- 建築物に潤いと安らぎを与える修景緑化を時間をかけて行う。
- 建築物が大事にされ、愛着がもてるように、運営管理プログラムの中に地域住民を組み込む。

住 民

- 地域の公共建築物として大いに活用し、地域の誇りとなるよう、維持管理に協力する。
- 地域の景観的魅力を常に意識して、運営管理プログラムのなかで、景観向上のための提言を行う。



(浦添工業高校、浦添市)

設 計 者

- 地域の自然環境や生活環境を生かした施設の景観維持のための提案を行う。
- 増改築等の際には、景観維持に支障をきたさないように、当初のプログラムを踏まえて、具体的な配慮事項の提言を行う。
- 地域のランドマークとなり、地域に親しまれるデザインの趣旨を、運営管理プログラムのなかで、継承していくための努力を行う。